

講義名	スポーツ科学演習 A (ゴルフ)			授業形態	
担当教員	坂井 隆秀	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

ゴルフは、手軽に行うことのできるスポーツとして以前とは異なり環境が整備されてきた。そのため性別年代を問わず広く楽しむ生涯スポーツのひとつとして捉えられている。しかし皆が気持ちよくゴルフを楽しむためには、技術の習得のみならず、ルール・マナーを守ることにより、お互いが気持ちよくプレーする事や、事故などのトラブルを回避することも学ばなければならない。本授業では、ゴルフの技術、ルール、マナーなど全般的な事を理解する。そして実践のために必要なプレーヤーとして正しい知識の習得を目的とする。

到達目標

1. 「健康」獲得の方法を修得できるようになる。
2. 歴史やルール、基礎技術を理解し、説明できるようになる。
3. 基礎技術を修得し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。

提出課題

基本的なクラブのスイング方法について理解し、習得しているかレポートの提出を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出された課題・レポートに対してコメントをつけて返却します。

評価の基準

- * 授業実施時間数の 4 回以上欠席したものは単位を認定しない。
- * 授業中の評価：受講態度・実技点など・・・ 80%
- * 期末期の評価：レポート提出・・・ 20%

履修にあたっての注意・助言他

ゴルフ初心者の方を対象に授業を進めていきます。参加者により授業内容を変更する場合があります。授業前・後は必ずマスクを着用することとし、授業中については教員の指示に従うこと。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

授業計画

- 第 1 回 ガイダンス 本授業の目的、進め方、評価等について
予備内容：シラバスの内容を事前に確認し、理解した上でガイダンスに出席すること（120分）
復習内容：ガイダンスの内容を再確認し、次回の授業に備えること（120分）
- 第 2 回 スイングの基本 クラブを正しく握る
予備内容：ガイダンスの内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 3 回 スイングの基本 正しく立つ方法
予備内容：前回の授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 4 回 アイアンの基本 ミドルアイアンの実践
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 5 回 アイアンの基本 ショートアイアンの実践
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 6 回 アイアンの基本 ロングアイアンの実践
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 7 回 練習 試合を用いた様々な練習方法を学習する
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 8 回 クッドの基本 11 実技
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 9 回 クッドの基本 フェアウェークラッドの実技
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 10 回 エッジの基本 シェドウェッジの実技
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 11 回 エッジの基本 アプローチエッジの実技
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 12 回 エッジの基本 サンドウェッジの実技
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 13 回 パッチングの基本 パターのグリップとアドレス
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 14 回 パッチングの基本 パッチングの実技
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）
- 第 15 回 まとめ
予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分）
復習内容：全授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身に付けておくべき資質・能力の 5 項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。集約や個人でスポーツ実践へ取り組みの中で、明るく元気な、どのような場所でも物怖しすることなく、誰とでもしっかりと言葉を交わすことができ、油断でもなくまじめに生き抜く力、つまり「本アカ」のびのびとした学びの精神を育むことができる。また、問題やその要因を発見し、自らが確信を取り組めるようになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組みることにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。

生涯にわたってスポーツに関わったり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。

以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考